# 津奈木

発行所　津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話（代表115番）
編集　編集委員会
印刷所　緒方印刷所
八代市通町
電話（八代）② 3117番

## 町政を聴く

語る人　六車町長
聴く人　永松登弥

男島と鎧ケ崎を結んだ線より南半分が合板会社の敷地となる予定

**永松**
今、町民の一番関心の深いのは干拓のことではないかと思いますが、町長さんのお考をお願いします。

**町長**
干拓の工場誘致については、先ず男子雇用型の企業でありたい。さし当り考えているのは、合板会社で、これは水俣の共栄合板会社位のもので、建物は一万五千平方米位、雇用人員は三百名程度です。月産四十万枚の合板を生産し（月収四億五千万円）年間目標五十億円の予定です。場所は男島の南側四万坪を予定しています。水俣の共栄工場の場合は雇用年齢が、三十歳迄となっているが、津奈木の場合は四十五歳まで引上げてもらうよう交渉しているので、こうなると人員の確保も割合に容易であり、出稼ぎしている人達も遠くへ行かないですむかと思う。
男島の周り三万坪を町民グラウンド等に利用し、男島と鎧ケ崎をふくめた一帯を公園化したらどうかとも思っている。
更に男島の北側には尚五万坪の余地があるので、ここには適当な工場を誘致したいと思っている。

## 町長との対談

**永松**
教育については、いろいろお考えがあると思いますが、先ず学校教育について、お尋ねいたします。

**町長**
身近かなことからお話ししましょう。私が最もうれしく思いますのは、二三年前から子供達が、よく大人の我々に挨拶するようになったことで、これは大方の大人も気付いていられると思うが、大変結構なことで、先生達の教育方針に敬意を表しています。目上の人や尊敬するということは、やっぱり必要ですね。言葉の使い方については、敬語の指導が必要と思う。何を尋ねても「ウン」という返事が普通のようで、テレビ等の影響もあると思うが、言葉の指導にはもっと家庭が注意したいものです。或る子供が「先生お早うございます」と言ったら先生が「お早う」でよいと嬌められたとききますが学校でもこんなことは、もっときびしく指導してもらったらと思う。
職場に組合があるのは当然で、教職員組合も結構と思うが、それは生活を守るための活動であり、教育向上にプラスする組合運動であって欲しいと思います。

**永松**
次に社会教育の面はいろいろお考えがあると思いますが、今公民館が考えている郷土資料室のことについて、どうお考えですか。

**町長**
旧小学校跡の校舎の階下は将来幼稚園の教室に予定しているので、二階を資料室にして郷土の祖先が使われた民族資料展室にしたら如何かと思っています。

**永松**
最後に産業についてひとことお話しいただきたいと存じます。

**町長**
町の八十五％は山林であったが山と拓いて三百haの果樹園が出来たので、山林は現在六十五％です。天下にきこえた芦北松も九〇％が松喰虫に侵されている状態で、樹種変更によって、適地適作をやることも必要でしょう。然し私が最も考えていることは、造林技術の向上ということが、先決問題ではないかと思う。かって私が造林技術研究会をつくって、数年来それを継続しているのも、その為で、今後の林業は狭い土地から多くの収益をあげる様経営することが必要と思う。殊に檜の良材の価格はすばらしい。技術向上によって、技打ち管理につとめ、檜の良材は津奈木に行けば手にはいる、という事になると、収益も随分伸びて来るでしょう。気のながい話のようでもあるが、結局近路ではないかと思います。

**永松**
「檜の名木は津奈木へ」……なんとすばらしいことでしょう。どうぞ、そうありたいものです。
もっといろいろおききしたいのですが、紙面の都合もありますのでこれで失礼します。お忙しいなかに有難うございました。

## ほこら巡り（3）

堀　二雄

場所は古川区山下和氏のお屋敷で、塀内に観音様の外にこの地蔵様が祀られてある。そこは旧赤崎街道の入口、大きな榎の下に大人が二、三人座れそうな岩の上に三体、通行人の肩にひよいと乗りかかれそうな高さの処である。
一番古いと思われるご一体には首がない、お隣りのご一体はちょっとさわったら首が落ちてころころと下の道にころげた。最後のご一体は石彫刻で首は落ちない、最古のものは何時の世に建てられたのか文字一つなく不詳。後のお二体は比較的新らしく数十年前村人が建てられたとのことである。
昔この里の裏山を吉祥山と言って小城砦があって、そこに住む武士の一人は銘刀を持っていて、時々里に下りて試斬りをしたという。ある夜、例のように辻斬りに出ていると、夜も更けかかるころ、一人の男が提灯をともしてすたすたと歩いてきた。武士はさっと闇から飛び出すと同時、紫電一閃大刀を横に払った。手応え充分と思いきや、その男は何事もなかったようにすたすたと歩いて行く。あっけにとられた武士は思わず「これこれお前は斬られたのだぞ」と大声で叫んだ。ハッとしたその男は提灯を肩の高さに上げながらふり返った途端に首がころりと落ちたという。
ここで幾つかの生命が消えた。斬った方が罪ほろぼしに建てたのか、また哀れを感じた村人が慰霊のために建てたのか分らないが、何時の世も弱いものはあわれである。山下邸の付近を「きっぞん下」裏山を「きっぞん山」というが、あるいは吉祥のなまりかも知れない。またきっぞは斬るぞの意味でもある。いまでも地蔵のお世話は山下家の方がなされている。この地蔵様はとても厳しい神で庚申様ではなかろうかと申されまた刀の因縁もあると申された由。いい伝えによると、この地蔵様は歯痛のときお参りすれば効があるという。首のある地蔵様は厳めしさはなく、朴訥なお顔で通行人を眺めていられる。首なし地蔵に首を作って上げても何時の間にか消えるという。
この稿の取材は西川渡さんのお取り計らいで、山下和氏母堂様からいただきました。



## 役場事務分掌

町長　六車孝吉
助役　諫山　貢

収入役　丸田繁人
**総務課**　斉藤宗三
行政係（西川兵市　山下照子）川野広美
財政係（斉藤栄二　吉本洋二）佐々木フクエ
防災交通係　篠原保智
文書係　林田貞夫　関タヅ子
**企画課**　松崎茂生
企画第一係　松本好栄
企画第二係　伊藤一吉
**税務課**　伊藤益夫
第一賦課係　水浦幸一　古川秀喜　津奈木英子
第二賦課係　佐々木太蔵　農口昌也　松本スヤ
**町民課**　元村　壮
住民係　浦田国光　西　京子　上原良一
福祉係　浜本繁巳　服部嘉子　篠原智子　福田栄喜　川上ヨシ子　林田貞美
**保健課**　鶴田幸人
衛生係　開田　正　斉藤　誠
水道係　開田　正　伊藤昭男　柳迫幸子
保険係　鶴田幸人　鶴野耕人
**農林水産課**　真野清光
農政係　斉藤五助　永田清子　福崎靖夫　北岡あつむ
振興係　林　生也　福島伸佳　浜田久米男
経済係　真野嘉一　堀　和弘　浦口美代子
家畜診療所　荒川康盛　農山秀喜
果樹指導所　真野清光
**建設課**　伊藤　辿
建設係　鶴野輝昭　新立満寿美　上村八郎　草野民生
すぐやる係　浜本勝人　山本直　鶴山　広　伊藤義治
土地改良係　真野修明　川添耕　石田恒義　竹本茂人
**保育園**　川野雄一　山本泰江　日野忠延　岡松綾子　平野良子　西　順子　野崎ふじ子
**収入役室**　伊藤安子　農中しのぶ
○町議会事務局　西川兵市　篠原保智
○選挙管理委員会　斉藤宗三　篠原保智
○農業委員会事務局　斉藤五助　北岡あつむ
**教育委員会**
教育長　農中三澄
**教育課**　川崎武松
庶務係　川崎武松　宮尾悦子
社会教育係　伊藤秀志　原田信夫
給食センター　吉野清照　松本富美　川野みどり　森下ムツ子　森山道子

## 昭和48年度　津奈木町スポーツ総まくり

### 昭和48年度　町民体育祭成績

町民体育祭得点表

| | ソフトボール | バレーボール | 水泳 | 野球 | ペーロン | 卓球 | 陸上 | 合計 | 総合順位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 竹中 | 18 | 12 | 15 | 12 | 10 | 16 | 3 | 86 | 10 |
| 染竹 | 12 | 18 | 17 | 20 | 18 | 20 | 18 | 123 | 1 |
| 浜崎 | 16 | 12 | 19 | 16 | 16 | 18 | 18 | 115 | 2 |
| 桜戸 | 12 | 16 | 16 | 4 | 7 | 16 | 2 | 73 | 13 |
| 町中 | 16 | 12 | 18 | 4 | 16 | 16 | 10 | 92 | 5 |
| 新川 | 19 | 0 | 0 | 12 | 7 | 16 | 8 | 64 | 14 |
| 古川 | 12 | 16 | 12 | 18 | 10 | 16 | 8 | 92 | 5 |
| 大泊 | 12 | 12 | 20 | 16 | 20 | 18 | 14 | 112 | 4 |
| 中尾 | 18 | 18 | 14 | 19 | 10 | 16 | 19 | 114 | 3 |
| 古中尾 | 12 | 19 | 12 | 12 | 12 | 16 | 6 | 89 | 7 |
| 倉谷 | 12 | 20 | 13 | 12 | 20 | 0 | 11 | 88 | 8 |
| 内野 | 16 | 16 | 0 | 12 | 16 | 16 | 6 | 82 | 11 |
| 上下門 | 16 | 16 | 0 | 4 | 12 | 19 | 20 | 87 | 9 |
| 川内 | 0 | 0 | 0 | 12 | 0 | 0 | 1 | 13 | 20 |
| 福浦 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16 | 16 | 19 |
| 平国上辻 | 0 | 0 | 0 | 18 | 0 | 0 | 12 | 30 | 16 |
| 平国下 | 0 | 0 | 0 | 12 | 0 | 0 | 15 | 27 | 18 |
| 日当 | 0 | 0 | 0 | 16 | 18 | 0 | 9 | 43 | 15 |
| 日添 | 0 | 0 | 0 | 16 | 0 | 0 | 13 | 29 | 17 |
| 小津奈木 | 20 | 12 | 0 | 12 | 16 | 16 | 4 | 80 | 12 |

## 図書館だより

朝夕はめっきり涼しくなり、天高く馬肥ゆる候、と昔からいわれるように、空気はすみ、気候はよく、加えて日一日と夜が長くなり、読書するのに最もよい時期です。
読書の必要性についてはみなさんよくご存じですが、適当な本がない、読むひまがないなどの理由でなかなか実行できないようです。
町図書館の利用については、小・中学生や一部の人だけで、また一般の方には、よくご存じでない方もおられるようですから、かんたんにご紹介しておきます。
場所は公民館の玄関を入ってすぐ右側にある室で、図書室と表示してあります。
たなの本は、小説・伝記・歴史ものなどいろいろあります。
みなさまに親しまれる、ためになる図書館にしたいと努力していますが、みなさまの積極的なご利用と、こうしたらもっとよくなるのだが、というご意見や、ご希望を、お聞かせいた[illegible]ましたらたいへんありがたいと思っています。
とにかく、一度お出下さって図書をご利用なさって下さい。

（伊藤秀志）

## 学校便り

### 津南中学校　本校生徒の概況について

六月二十六日落成式挙行、町民各位の教育によせられた期待と、ご厚意のシンボル、真新らしい校舎で、決意を新たに学業に励んでいます。自律・敬愛・強健、の努力目標をかかげ、将来の津奈木町を背負うにふさわしい人間たるべき希望に燃えています。特に人間修養に力をおき、敬愛の基本精神である「あいさつのできる人」「なぐる度胸よりなぐられる度胸」の持ち主になるよう努力しています。
さて生徒の概況についてですが、学習面では、知能検査結果からして十分な素質があります。したがって努力すれば更に伸びる可能性を持っています。あと三〇分家庭学習時間をふやしてもらいたい。持ち合わせた実力がややねむった感じです。
体位体力の面では、総体的にみて県平均・全国平均並か、やや上位にあり、特に体力面は優秀です。ただ、ボール投げがおとっているようです。
進路状況は（四十七年度卒業生）一五三名中進学一〇三、就職三三、（県外二〇、県内一二）就職進学一一、各種職訓その他七名です。全国進学率平均八五％に対し本校は六八％となっています。
生徒会活動は、自主的生活態度を身につけることを目指し、計画的に部会・委員会を開き活発な活動を行ない、明るい津南中校風樹立に邁進しています。
スポーツ面では、四二四名の生徒中、三三二名が社会体育に入部し、強靭な心身鍛錬に励んでいます。
去る七月の郡中体連大会では五種目の優勝を獲得し、七月の放送陸上県大会では二〇〇米に優勝、四〇〇リレーで二位、走高三位、その他四位・五位と立派な成績をおさめました。
租税教育の研究指定校について
四十七年から二ヵ年の研究指定を受け今年十一月研究結果の発表会を予定しています。学校では新しい研究ですので何回も研究会を重ね、生徒租税委員会を組織し、それを中心に研究中です。「租税教育とは何か」の関心をお持ちいただいて皆様の研究課題にして戴ければ幸いと思います。
日頃の皆様の御支援を感謝しつつ学校便りにかえます。

# 能力の開発

## 津南中学校のスポーツの進境

人間は、一人一人がどれだけの高い・深い力をもっているかわからない。つまり人間は、はかり知ることのできない大きな力を秘めているものである。ということを津南中学校のスポーツで証明させられつつある。

例一　池崎泰子さん（二年）

七月二十二日、全国中学放送陸上において、池崎さんは、熊本県大会の二〇〇mに出場、二六秒九の記録で見事優勝した。この記録は熊本県では図抜けた記録で、このほど熊本県陸上協会から、全国ジュニア陸上大会へ出場するようにとの通知があった。

この大会は十一月三日東京の国立競技場で行なわれる。勿論出場で、本人も学校も両親も張り切っている。

例二　県大会でかずかずの入賞

七月二十二日、放送陸上で、池崎さんの外に、県下の強豪と肩をならべて入賞したもの、

○四百米リレー　県二位
浜田いくよ(平国)　福田友子(平国)　千々岩三四子(赤崎)　池崎泰子(上下門)　いずれも二年
○走り高跳び　県三位
久村りえ子(古中尾)　二年
○八百米　県四位
野崎明光(平国)　二年
○八十米ハードル　県五位
浜田いくよ(平国)　二年

例三　郡中体連で六本の優勝旗

池崎泰子さん

○今年行なわれた郡の中体連では剣道・柔道・体操・卓球・バスケット・水泳で優勝し、十月の陸上でも優勝まちがいないと思われるので七本の優勝旗

○野球は県下三位の成績

右にあげた人たちが、こんな力をもっていることを、自分も他の人も知らなかっただろう。先生に引き出してもらって初めてわかった。

### こんなことが起こった。

津南中学校の生徒が、平素友だちと歩くのに、本人は気づかないが、歩調がおのずからそろっていることを発見した。先生にそのことを話したら、おどろいておられた。こんなことが、やがて他の方面にも、連鎖反応を起こさずにはおかないと思っている。

# 名言金言

教育長　農中三澄

名言は人生に対して不思議な力をもつ。ある時は人を教え導き、ある時は人を励まし慰める。

○理解と和解の心は、どんな知恵にも、武器にも優る。
○相手の意見を尊重する人には対立や争いは起らない。
○肩書きに値打ちがあるのではない。実力こそが人の値打である。
○小さなことでも感情に走ると大きな争いの因となる。
○どんな立派なことを言うよりも一つの実行の方が尊い。
○かけられている迷惑より、かけている迷惑に気付け
○苦しさを乗り越えて生れる体験こそ、その人の身につく。
○楽しい人生の中には、必ず苦しい時代の経験が生きている。
○親の正しい生活態度が、子供の最良の躾である。
○お互いに相手の足りない所を補い合うのが夫婦である。
○良き人生は朝の一瞬できまる。感謝と寛容は幸福を生む
○堅実に努力を続けることは、希望を達成する近道である。
○人をだますことはできても、自分をだますことはできない。
○出来ることさえしようとせずに出来もしない事を考えている。
○不平は自信の欠乏であり、意志薄弱の証拠である
○人の世話にならぬ者はないのに独力で生きていると思い易い

（赤崎小校長室の壁から）

×××

あと五句あれば一ヶ月一日一言が出来る。どなたか残りの五句を教えてくれませんか。自分の好きなことばを考えるのも一法かと存じます。

# 青年団奉仕

津奈木町青年団は去る九月二十三日朝八時より午後六時まで、五十余名で奉仕活動をした。

無人津奈木駅の樹木の整枝・花壇の草取り、千代塚の慰霊塔や園内の清掃、町内三号線の危険物の取りのぞき等、班に分かれて作業をした。

津奈木駅(無人)を掃除している班

# 眼鏡橋聞き書

岡松　壮

これは中尾の坂口寿太郎さんから聞いたお話です。

普通、橋ができ上がると開通式つまり、渡初め式が行なわれる。

そのときは、いつまでも橋が永もちするようにと、親・子・孫三代の夫婦（一家で三みゆうとそろうことはめでたいことである）が、最初に渡ることになっている。

さて、嘉永二年津奈木眼鏡橋が完成し、開通式の渡初めの三夫婦を誰にするか。津奈木中の三夫婦をことごとくあげてみた。しかし誰もかれもというわけにいかぬ。その名望家でなければならない。その選に入った人は、津奈木眼鏡橋では誰だったろうかと私は心あたりさがしていた。（ここまでは坂口さんも話してくれなかった。）たまたま、林田義人さんが、私の祖先ですと、そこで、嘉永二年現在で三ご夫婦の年令など調べてもらった。林田さんはお位牌やら、お寺の過去帳など調べ、諫山繁敏さんは、また別な方面から、当時の林田一家のことを調べて下さった。

そしておじいさんが七十六歳、次が五十三歳、孫さんが三十一歳のご夫婦が参列されたことがわかった。

この孫さんのご主人は林田亭四郎、奥さんはサイといわれ、義人さんはその孫にあたるとのこと。

さて、万事の用意ととのい、渡初めの式がきた。庄屋衛藤三郎衛門、石工三五郎、林田家の三夫婦その他の有志のめんめんが、中村の方、つまり保育園の方にせいぞろいした。（北の方から南の方に渡ったとは諫山繁敏さんから聞いた。）先ず、念入りに仕上げた米俵二俵を馬に積んで、鼻をとったのは川内の田中さんであった。その後に三夫婦、その後に関係者だったと坂口さんは話する。そして、林田一家の外に、いま一組の三夫婦があった筈と坂口さんがいうから、二、三の家にあたってみたが、そんな話は聞いていないとのことであった。他の一組は今のところ不明、ご存じの方がいられたら、どうぞお教え下さい。

私は「眼鏡橋聞き書き」に鶴野満真さんから聞いたお話と、坂口寿太郎さんから聞いたお話を、私流に解釈してのせました。後の世に語りついでもらいたいためであります。

今、あの人から聞いておかぬと、習っておかぬとあの人が亡くなられたら、永久に消えてなくなってしまう、というようなものが、いろいろあると思います。たとえば、部落に伝わった踊りとか、古い歌とか、三味線とかここにいうお話とか……このごろ老人会で古い器具を集めていられます。われわれの生活の歴史を知る上に大事なものです。古いものはすべて悪いという考え方こそ悪いと思います。

どうぞ、消えてなくなったらおしいと思われるものがあったら、公民館やら、文化財保護委員（林田義人・藤本兵吾・堀　二雄・千々岩英昭・岡松　壮）にお話し下されば、できるだけのご協力申し上げます。

# 肥後狂句

堀双岳選

おとろしかカーブ猛スピードで
おとろしか大杯の来る回し酒
ご無理やっぱ国大や歯もたたぬ
ご無理餌無し魚のつるるかな　建男
おとろしか子供子供と思うたら
おとろしかだまぁして登記しとる　定夫
ふう
おとろしか女二人寄っとらす
おとろしかガンて言われはせんも
ねろ
ご無理後家で通せて言わるるか
おとろしか日本沈没ほんとなら
おとろしか君が飲むなら目の座る
ご無理今の娘の立小便　拙者

次題心配無用、気のどくさ、十一月末まで公民館へ



# 大島つむぎ工場

## 藤絹織物　津奈木工場

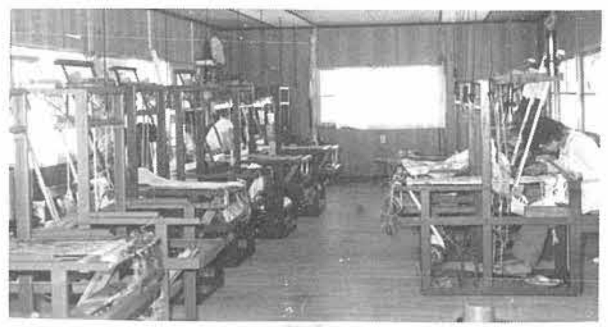
浜崎の田の真中にポツンと大島つむぎの工場がある。工場らしからぬが、ここはそれでよいのである。普通の工場のように一ヵ所に集って、時間にしばられて仕事するのとは違って、大部分の人は家庭で織っているからである。たまたま、工場に来て仕事をするのでも、いつ出てもよく、子供のお守しつつ織ってもよい。

また、忙がしいときは、自分の仕事をして休んでも自由、仕事をしたいときは朝でも夜でもいつ織っても勝手である。

また、上手になれば早くよく織れて、織り賃は高くなるし、努力しなければいつまでたっても、賃金は上らないという報いもはっきりしている。

三年前の仕事はじめのころは、手の動きもたどたどしく、あせりの色も見えたが、このころは描いた絵のようにきれいな細かな織物が、手ぎわよくできているのを見て、上達に時間の有難さをつくづく感じた。

この工場が、津奈木の経済に貢献していることは少々のことではなかろう。



藤絹織物津奈木工場内部

# 主張

農協長　寺本一喜

日本列島は、物資の不足、物価の上昇、交通事故、公害等の社会不安と甚しい。この時代に生きる私達は、目まぐるしい、毎日をよぎなくさせられている。

静かな農山漁村であった津奈木町も、急激な変転を強いられているが、十年後の津奈木の構想をえがきながら、本町の置かれた、諸条件を生かし、行政と密接な連けいを取りつつ、住みよい町作りに努力されねばならない。

農村人口が減少して行く中で、経営の拡大を計り、将来の食生活の動向をさぐり、農業の正しい方向づけを示して行くべきであろう。

そのために、農協に課せられた責任は重く、健全なる運営と組織力の強化、情報の先取り等により、常に一歩前進すべく、研究開発されねばならない。

更には組合員の所得の増大、生活の安定等により、豊かな人間性の中で、小さな力でも、お互い持てる力の全部を出し合い、協同・融和の精神も養って行かねばならない。

〝一人は万人のために
万人は一人のために〟

それぞれの立場を生かし、本町の基礎を築き、明るい、豊かな町作りに、力を惜しむまい。

農山漁業と工業の振興を併進、次代を担なう若人や、子孫が喜んで生活できる、住みよい環境を作ってゆく。津奈木にはその様な条件が揃っているものと思う。其の一翼を農協は担うべきであろうと考え、微力を捧げたい。

# 東南アジア旅行

在大阪　伊藤信夫

車掌が駅長室につれていったことから、話は始まる。

ジャカルタであまり上等のホテルに泊って困ったので、日本人としてのみえも外聞もすてて、「できるだけ安いホテルをお願いする」といったので、紹介されたホテルは、正しく悪いものであった。部屋に入ったが、電燈がなく手さぐりでゆく。部屋には電燈はあるが故障、くらやみに慣れるまで時間がかかる。

部屋には机が一つ、ダブルベッド一つあるだけ、土くさい。

早く寝たくて服もぬがずにベッドにとびこんだ。ところがベッドの四本の足の一本がびっこひいて寝がえりするたびに、ゴトンとベッドがかたむく。

二十日朝、ゴソゴソという鼠の音に目がさめる。気持が悪くなって、すぐ出発の用意をした。三百ルピア（二百八十円）を払って宿を出る。

荷物を預けるためまたホテルをさがし始めた。運転手にホテルといったら、豪華なホテルを見つけてくれた。さぞ宿料は高いだろうとは思いつつも、清水の舞台からとび下りるつもりでそのホテルを申し込んだ。料金は三食こみで千八百ルピアで、耳をうたがいたくなるように安い。

昨夜の分まで眠って起床したのが午後二時、このまま遊んでいては申しわけがないと、ボロブドールの遺跡を見ることにした。

ボロブドール、その他の遺跡をひと回りして四時間で、四千ルピアと、少々高いが、他に交通機関がないのでその自動車にきめた。

ボロブドールに着く前に遺跡を二、三見たが、すべて石造りで、仏像の彫刻をしてある。見ごたえのある遺跡であった。

ホテルを出て一時間ばかりでボロブドールの遺跡が見えてきた。回りはすべてヤシの木にかこまれていて、まさしく遺跡というにふさわしい光景である。

ボロブドールの遺跡でインドネシアの女性と共に

日本の観光地で見られるように、ここでも土産品を売る店がならんでいる。入口には兵隊が警備していた。

この遺跡は仏塔までの高さが四十二メートルもあり、基部は百二十メートル四方ある回教寺院で、全部自然石で造られ、印度以東最大の仏跡といわれている。七世紀にできていて、壁画がくっきりとしている。壮大という形容がぴったりである。

観光客も多く、そこでオーストラリアからきたという学生と知りあい、おたがいに写真をとりあってわかれた。またインドネシア女性三人とも仲よくなり、ことばの代りに、目と笑みで会話し、一緒に見て回った。

ホテルに着いたのが午後五時、まだあかるい。

# お知らせ五つ

**奥さんのパート収入に税金**

一、奥さんのパートが月平均二万八千五百円より少なければ配偶者控除が受けられる。

二、奥さんのパート収入が月平均三万四千三百円より多ければ、所得税がかかる。

**相続税**

婚姻期間二十年の奥さんと子供二人で相続のときは、千五百六十万円まで、奥さんと子供三人で相続のときは、千六百八十万円までは相続税はかからない。

婚姻十年以上の奥さんが、期限内に正規の遺産分割して相続したときは、遺産額三千万円までは税金はかからない。

地方公共団体などに寄付したときはその分には相続税はかからない。

**税金の行方**

昭和四十八年度の国の一般会計予算は一四兆八四〇〇億であるが、その八〇%は税金である。すなわち十一兆なにがしは国民のくらしをより豊かに、より住みよくするために使われるが、税金の全体を千と見たとき使いみち別の割合は、

| | |
|---|---|
| 国民の健康や生活 | 一八一 |
| 道路や住宅に | 一九九 |
| 教育や科学 | 一一〇 |
| 国土防衛 | 六五 |
| 地方財政の援助 | 一九八 |
| その他 | 二四七 |

**産業開発青年隊員募集**

一、十八歳から二十五歳までの男で、高校卒の学力。

二、昭和四十八年十二月二十五日まで願書受付。

三、一月十九日、菊池郡大津町の訓練所で試験。

四、願書の外に履歴書・学業証明書・身体検査書・戸籍抄本・身元証明書各一通提出。

**自動車二種免許が取れる**

一、国立熊本総合高等職業訓練所に入って自動車二種免許がとれる。

自動車学校に委託

二、訓練所に入るには失業者でなければならない。職業安定所の認定を要する。農業者は町の所得証明。

三、受講手当・通勤手当がある。

四、詳細は熊本市東町四―一二　熊本県乗用自動車協会